

授業づくりのはじめの一步！

「付きたい力」を明確にしましょう



児童生徒が確実に力を付ける授業を計画するために、まずは、教師が「付きたい力」を明確にしてから、「学習活動」を設定することが大切です。今年度から小学校で全面実施（中学校では令和3年度から全面実施）されている「学習指導要領」の解説を踏まえながら、授業改善を進めましょう。



「付きたい力」を明確にしてから、「学習活動」を設定するとは？

授業で、児童生徒に**何の力**（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）を、**どのような方法**（学習活動）で付けていくかを明確にすること。

「付きたい力」や「学習活動」は、どのように設定しますか？

- ① 学習指導要領の目標や内容、**学習指導要領解説**等を踏まえて作成します。
- ② 児童生徒の実態、**前単元までの学習状況**等を踏まえて作成します。



例 【読むこと】 登場人物の心情変化を、情景と結び付けて想像することができるように、（付きたい力）
物語を読んで理解したことに基いて感じたことや考えたことを文章にまとめる。（学習活動）

【分数のわり算】 分数の除法の計算の仕方を多面的に捉え考えることができるように、（付きたい力）
除数が、分数である場合の除法の計算の仕方について説明する。（学習活動）

「付きたい力」を明確にすることの効果

体育 【運動遊び】 簡単な遊びを工夫したり、考えたことを友達に伝えたりすることができるように、（付きたい力）
マットを使った運動遊びをする。（学習活動）

〈小学校体育の授業後の会話のイメージ〉

今日の体育は、児童が活発に活動していましたね。**付きたい力**は何だったのですか？

マットを使った運動遊びの中で、**簡単な遊び方を工夫したり、考えたことを友達に伝えたりする力**を付けることがねらいでした。楽しいアイデアがでて、工夫して活動しました！



〈小学校体育の振り返りの場面のイメージ〉

今日は、楽しい遊び方の工夫が見られましたね。**どのような工夫ができたか**振り返りましょう。

「ゆりかご」をしました。**体を丸めて、勢いを付けて揺らすと後ろに回ることができました。**次は、前に回ってみたいです。



「付きたい力」を明確にすることで…

- 教師は、**何を評価するか（学びを見取る視点）**が明確になります。
- 児童生徒は、**何を振り返ればよいか**が明確になります。

学力向上担当者の先生方へ ～校内授業研究を充実させるために～

校内授業研究でも、次のような視点で協議をすると、充実した研修になります。ぜひ、参考にして各学校における校内の授業研究の充実に役立ててください。

【協議の視点】

- 「付きたい力」が明確で、児童生徒にその力が身に付いたかどうか確認できたか。
- 「学習活動」が、「付きたい力」を付けるために、効果的であったか。

※効果的でなければ、他にどのような手段が考えられるか。

